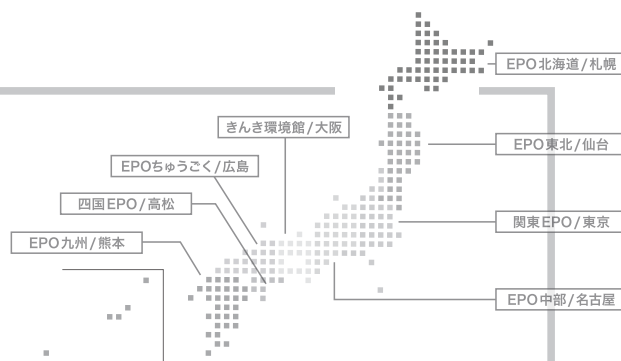


つながる EPO ネットワーク

全国 8 カ所に設置された
環境パートナーシップオフィス (EPO) の活動



EPOに求められる変革

井上郡康 (環境省東北環境パートナーシップオフィス)

世の中は平成の世から“令和”の世になり新時代を迎えた。

つい20年前は常識だった事が今では非常識になったり、これまで考えもされなかったことが普通に考えられたりする。1983年に全国展開された飲料用ペットボトルは画期的であったが、36年経った今、便利ではあるが世界的な環境問題になり、我々は利便性と環境課題からの変革を求められている。

EPO事業も例外ではなく、時代



EPO東北と東北地方ESD活動支援センターの委員会風景

の変革に対応できなければ運営は成り立たなくなる。EPO東北は令和に突入するタイミングで運営第4期目に入り、大きな変革の時期を迎えた。これまでは環境専門としてのパートナーシップで物事が進んできたが、今や世の中はESD/SDGs、地域循環共生圏である。

ESDを広めていくためには環境の分野を超えて他の分野とつながる必要がある。EPO東北では平成29年から東北地方ESD活動支援センターを構え、教育分野との融合を目指してきた。環境分野と教育分野では物事の考え方や進め方に大きな違いがあり、その溝を埋めなければ持続可能な社会など確立しようもない。そこで第一弾として足元から運営体制、特に会議体制の見直しを始めている。これまでEPO東北、東北地

方ESD活動支援センターには各々に委員会があり各々に意見聴取を行ってきたが、この委員会を同時開催とした。相互理解を進め事務局を中心により一体になって事業を進める体制に変えた。結果が出るのは数年後かもしれないが、間違いなく言うことは、各分野を融合したところに新たな光が見えていることだ。

環境問題には分野はおろか国境さえもないはずである。細かい固定概念を捨て新たな価値観で変革を起こしていくことが求められている。

**環境省
東北環境パートナーシップオフィス 統括
井上郡康 (いのうえ くにやす)**

2005年より(公財)みやぎ・環境とくらし・ネットワークにて気候変動に関する環境学習や啓発用ツール開発に携わる。2010年よりEPO東北にて従事。キリバス共和国における再生可能エネルギー普及事業など海外事業も手掛ける。

2019年9月発行

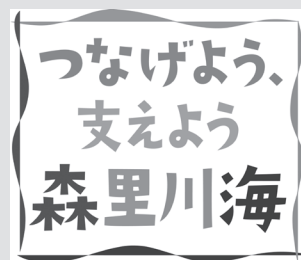
編集・発行：地球環境パートナーシッププラザ
<http://www.geoc.jp/>
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前5-53-70国連大学1F
Tel. 03-3407-8107 Fax. 03-3407-8164
開館時間：10:00～18:00(火～金曜)
セミナー開催時は21:00まで
10:00～17:00(土曜)
休館日：日曜・月曜・祝日・年末年始

関東地方環境パートナーシップオフィス(関東EPO)
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前5-53-67コスモス青山B1F
Tel. 03-3406-5180 Fax. 03-3406-5064
業務時間：10:00～18:00
休業日：土曜、日曜、祝日、年末年始

デザイン：安食正之(北路社)
印刷：光写真印刷株式会社

GEOC/EPOからのお知らせ

環境省では、「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトを推進しています。このプロジェクトは「森里川海を豊かに保ち、その恵みを引き出すこと」「一人ひとりが、森里川海の恵みを支える社会をつくること」を目指しています。私たち一人ひとりが意識や行動を変えていくことで、森里川海を支えることができます。活動報告も随時募集しています。まずはできることから、始めてみましょう。このプロジェクトへの賛同はこちらから。
<http://www.env.go.jp/nature/morisatokawaumi/>



つな環編集部 星野智子、尾山優子、指澤佳代、江口健介、村尾幸太、浦林貴子、今井麻希子(順不同)

つな環

検索

「つな環」はインターネットからもご覧いただけます。
<http://www.geoc.jp/information/tsunakan>